

UMC-Japanese Ministry
11 Highgate Terrace
Bergenfield, NJ 07621 USA

新サーキットライダー 2013年1、2月号



U_{nited} M_{ethodist} C_{hurch} - J_{apanese} A_{merican} M_{inistry}

合同メソジスト教会日本語ミニストリー

c/o The Church of The Good Shepherd, 326 New Bridge Road, Bergenfield, NJ 07621

Pastor: Rev. Dr. Jun Yoshimatsu 牧師：吉松 純

Church: (201) 385-4100 Homepage: www.umc-japan.org

主にある出会いと別れ

神とともにいまして、ゆく道を守り、日ごとの糧もて、つねに支えたまえ。

＊（繰り返し）また会う日まで、また会う日まで、神のめぐみ、たえせず共にあれ。

荒れ野をゆくときも、あらし吹くときも、ゆくてをしめして導きたまえ、主よ。 ＊

み国に入るひまで、いつくしみひろき、みつばさのかげに、はぐくみたまえ、主よ。 ＊

讃美歌 21、456番「神とともにいまして」

気がついたら2月、節分、立春も終わっていました。皆様いかがお過ごしでしょうか。ここニュージャージーは久しぶりにマイナス10度以下の日が続いたり、雪嵐が来たりと厳冬になりました。が、教会員も私達も皆寒さ厳しい折も日々新しくされる思いで元気に仕事に勉強に明け暮れています。感謝。

とても恵まれたクリスマス・シーズンを過ごした直後から2月初めまでの1ヶ月の間に、神の導きと主にある友との別れがありました。年末の12月26日から2泊3日で東部日本語教会牧師、家族のリトリート（修養会）があり、洪凡善（ホン・ボムソン）神学生と私も参加してきました。リトリートではロサンジェルス・ホーリネス教会の溝口俊治牧師をゲスト・スピーカーにお迎えして数回に分けてお話を伺い、とても良い学びの時、交わりを持たせて頂きました。

実は私は27年半前、1985年の夏に溝口先生とは1度お会いしています。カリフォルニアの日系人教会が集まって作られている宣教団体 JEMS(Japanese Evangelical Mission Society)主催で毎夏サンフランシスコ郊外で1週間に渡って持たれるマウント・ハーモン (Mt. Hermon) 修養会に参加した折に、先生が協力教会牧師として来られて、祈りや証をされ、「なんと力強い祈り（熱祷）をする先生なんだろう！」と印象に残りました。ご本人曰く「私はどちらかという口数が少なく、おとなしい方なんです（笑）。」とのことでしたが、先生のダイナミックな祈りに私はとても感銘を受けたのをいまでも覚えています。

溝口先生との再会もさることながら、マウント・ハーモン後に訪問させていただいたサンタクララのホーリネス教会で出会った兄弟の消息が今回分かり更なる喜びを頂きました。その兄弟は皆から「しんちゃん」と呼ばれていた20代前半の若者で英語の

勉強をしながら日本食レストランでバイトをしていました。

当時ニューヨーク日米合同教会会員だった私は他に2名の友人と共にマウントハーモンに行き、サンタクララで青年会メンバーと交わりの時を持たせていただいたのですが、しんちゃんは青年会の一人でした。もう一人しんちゃんとコンビでやたら元気の良い兄弟がいましたが、その兄弟よりも、どちらかというと寡黙な、しかし揺ぎ無い信仰で「献身するという召命を受けました。」と話してくれたしんちゃんのことが記憶に残りました。

私と同様、しんちゃんも牧師の息子で日本で教会生活や牧師である父の姿を子供の頃から見てきたが故に迷い、自分の信仰が解らず逃げるようにアメリカに来て、異文化の中で苦勞し、初めて心底キリストによる救いを体験、確信を得た。そして神学校に行き牧師として働きたいと願うようになった……。交わりはほんの数時間でしたが、しんちゃんの話が心に残りました。私もニューヨークの美大を卒業したは良いが、本当がアートでやっていけるのか、この道が自分の天性なのか迷っていたこともあり、その1年後、自分も献身して神学校に行く決心をしたのですが、しんちゃんの証や献身がとても励みになりました。

元来筆不精な私は、今のようにメールも無く長距離電話もまだ高い時代でしたので、彼との交流もその後途絶えてしまいましたが、時折「しんちゃん、今頃どうしているかな。神学校行ったかな。卒業して牧師になったかな？」と思い出すことがありました。そうこうするうちにいつしか20数年の歳月が流れていました。それが今回溝口先生を通して、現在「しんちゃんこと関真士先生はハワイのホノルルで教会にお仕えしていますよ。」と伺い、我がことのように嬉しくなりました。実は東部日本語教会牧師会の先生方から「関先生」というお名前は何度か伺っていたのですが、しんちゃんの姓は覚えておらず、関先生があのか「しんちゃん」だったとは結びつきませんでした（苦笑）。

しかしあの時のしんちゃんは証ししてくれた通り、献身して牧師になり今はハワイで牧会している、と知り本当に主イエスにある友との出会いを不思議なかしながら嬉しい思いで確信しました。早々にメールでお便りを出したところ、関先生も「純先生のことは良く覚えていますよ。」とお返事を頂きました。更に Face Book でも繋がりました。これからお互いの伝道、宣教活動、また関先生も私同様、「お茶と日本文

化を学び、日本人伝道にそれを生かそうと
思っている。」とのことで、そちらでも意
見を交わせそうで嬉しい限りです。

このような神の不思議なご計画による出
会い、時を経ての再会もあれば、別れもあ
ります。去る1月29日にとってもお世話に
なったドナルド・ブラウン牧師が召天され
ました。齢78歳。長生きと言え言えま
すが、今でしたらもう少し生きて良いの
にと思える惜しい人を亡くしました。

ブラウン牧師は私が合同メソジスト教会
の牧師（補教師）また正教師として按手礼
を受けた1995年、97年当時、私の直
属の上司と言うべき立場にある支区長
(District Superintendent)で、按手を受ける前、
牧師試験を受ける前からとてもお世話にな
った牧師で、2005年には私と泉の結婚
式も浅田容子牧師と共に司式をして下さい
ました。

1991年現在の日本語ミニストリーの
前身となる日本語伝道をスタートし、92
年からニュージャージー・リトル・フォ
ールズ合同メソジスト教会のチャペルをお借
りし毎週礼拝を持つようになりました。が、
始めた当初はDrew大神学校を卒業しYale
大神学校に通い始めたばかりで、この先牧
師になるのか、大学院博士課程に進んで勉
強を続けるのかまだ決めかねていました。
しかし自分の学びたい「美術と宗教」で博
士号を出している学校がなかったこともあり、
93年にYaleで二つ目の修士号を取り
卒業後、合同メソジストの牧師になるべく
按手礼を受ける準備を始めました。

1991年に一度、当時の支区長と会い、
支区の按手礼委員会にも呼ばれ面接を受け
ました。しかし92年に前支区長からブラ
ウン牧師に交代した折に、私の存在や日本
語伝道のことは全く引き継がれず、私も
Yaleでのハードな学びや日本語礼拝、聖書
勉強会などに追われ、按手礼委員会に連絡
をするのを怠っていたこともあり、完全に
按手礼委員会の牧師候補生リストから名前
が消えてしまいました。

何も連絡がなく、通常、牧師候補生にな
るとメンターと呼ばれるアドバイザーが
個々の候補生に決められるのですが、その
アドバイザーも決まっていないことを不審
に思ったリトル・フォールズのジーン・ハ
ミルトン牧師がブラウン牧師に連絡をして
下さり、そこで改めて私の存在に気付いた
ブラウン牧師が、連絡を全く取らなかった
1年ちょっとのブランクを埋めるかのよう
に、按手礼委員会に私を再度紹介し、手続
きが最短で済むよう押して下さい95年に
晴れて北ニュージャージー教区の牧師（補

教師）として按手礼を受け、パークリッジ
に赴任することになりました。

パークリッジ合同メソジスト教会への赴
任も朝は英語の礼拝、午後は日本語伝道が
できるようにとのブラウン牧師の計らいで
した。そのお陰で良い人々に囲まれ、英語
も経験も未熟な私が13年も牧会させてい
ただき、2008年に中堅牧師として現在の
グッドシェパード教会に赴任させていた
だきました。私が今日曲がりなりにも教会
でお勤めができるのはブラウン牧師を初め
多くの良い方々との主にある出会い、導き
によるもので、ただただ感謝で一杯です。

ブラウン牧師の葬儀には私も良く知って
いる友人牧師や引退した懐かしい牧師、そ
の家族達が集まり、200人程入る礼拝堂
に入りきれず立っていた方もいたほどで、
彼の人柄が改めて偲ばれました。その場に
集っていた人が一様に「ドン（ドナルドの
通称）は私の良き友だった。」と言って哀
悼の意を表してましたが、彼は誰に対して
も、人種の隔ても、階級や地位、役職、性
など一切の差別偏見なく一人一人と名前で
呼び合うような友人関係を築いていたから、
そのような深い信頼関係ができたのだと思
います。

その柔和な人柄からは想像できませんが、
彼は私が生まれた1958年に牧師になり、
アメリカで公民権運動が最盛期の頃、ワシ
ントンDCに出向き、あのキング牧師達と
も会って、人種差別撤廃や社会運動にも関
わったリベラル白人の代表のような一面も
あり、彼の信仰に基づいた深い思慮と大胆
な行動は私も尊敬してやみません。

神の不思議な導きで出会った兄弟姉妹、
友は本当にありがたいなあ、大事にしたい
なあと何度も何度も思った2013年の出
だしです。人情が薄れ、出会いを大事にし
ない時代ですが、2年前の3月11日の震
災以来、絆の大切さが問われています。皆
様との出会いも主の導きと思い大事にしく
願っています。

吉松 純

礼拝予定：

2月

- 3日：聖餐式、Jr教会：節分、立春。ユース、聖書の学び
10日：礼拝、Jr教会：バレンタイン・カード、ユース、聖書の学び
17日：礼拝、Jr教会：レント受難節の学び、ユース、聖書の学び
24日：礼拝：洪神学生説教（予定）、Jr教会、ユース、聖書の学び

3月

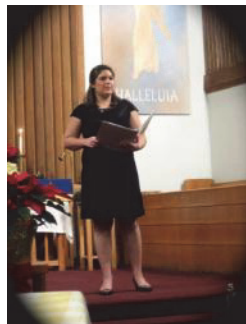
- 3日：聖餐式、Jr教会：桃の節句、ユース、聖書の学び
10日：礼拝、Jr教会、ユース、聖書の学び
17日：礼拝、Jr教会、ユース、聖書の学び
24日：棕櫚の聖日、Jr教会、ユース、聖書の学び
31日：復活祭礼拝、洗礼式、礼拝後、教会社交室にて持ち寄りで祝会

感謝と報告



村富佳奈子、吉松泉、和田美月（敬称略）

* 去る12月22日、グッドシェパード教会主催によるクリスマス音楽会が持たれ、日本語ミニストリーのユースや洪凡善神学生も参加しました。



洪凡善

ハナ・デブロック（ソプラノ）

このコンサートは教会のファンデレイジング目的でしたが礼拝堂には150人以上集まり、関係者を除いて収益も1600ドルほどになりました。心から感謝いたします。



グッドシェパード聖歌隊

* 2月13日（水）午後7時の灰の水曜日礼拝（英語）からレント（受難節）のプログラムが始まります。詳細は別紙をご覧ください。

* 3月16日（土）午後6時から Neumann University 聖歌隊をゲストに3・11東日本大震災2周年及びハリケーン・サンディー被災者救援のコンサートがあります。大人15ドル、12歳以下の子供7ドルです。どうぞおいで下さい。

お祈りと献金の御協力をお願いします。チェックのあて先は **UMC-JA** とし、どのプログラムに献金したいか明記してお送り下さい。

- * 自然災害被害者の為、日本の東日本大震災、
- * ハーベスト・タイムのミッションの為
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOC S）に送ります。JOC S 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * アフリカの恵まれない子供達やエイズの患者の為に特別献金をしています。
- * パターソンの社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に。CUMAC は合同メソジスト教団に属し、貧しい人達の為に炊き出しと路傍伝道をしています。

教会の住所：

UMC-Japanese Ministry

The Church of the Good Shepherd, UMC.

326 New Bridge Rd. Bergenfield, NJ 07621

英語オフィス(201) 385-4100

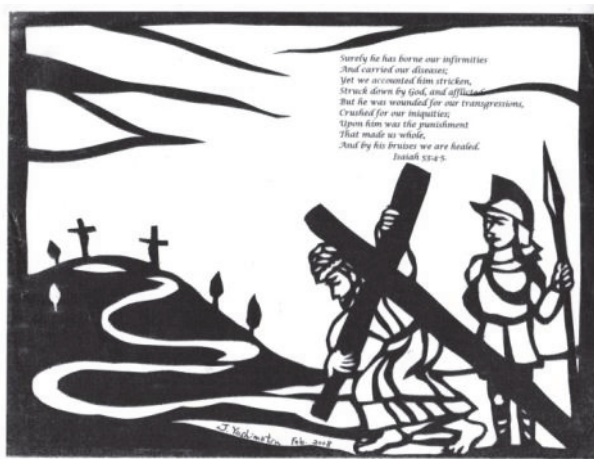
ホームページ：<http://www.umc-japan.org>

[English Website: www.cgs-umc.org](http://www.cgs-umc.org)

牧師館：(201) 338-2744

吉松牧師 jun.yoshimatsu@gmail.com

教会学校担当：吉松 泉姉



受難節、復活祭の礼拝 とプログラム

灰の水曜日（英語 Ash Wednesday Service） 2月13日、午後7時30分

受難節パンとスープの夕食と聖書の学び。

2月15日から3月22日までの毎週金曜日、午後7時
英語プログラムですがどなたも歓迎です。

*パンやスープをご用意下される方は教会オフィスまでお知らせ下さい。

ニューマン大学聖歌隊をお招きしての春の音楽会

3月16日（土）午後6時

3・11日東日本大震災2周年及びハリケーン・
サンディー被災者へ支援コンサート

大人 15.00 ドル、12歳未満 7.00 ドル



洗足の木曜日、最後の晚餐の再現礼拝（英語）

3月28日（木）午後7時30分

ティーネック合同メソジスト教会と合同の聖金曜日礼拝（英語）

3月29日（金）午後7時30分、ティーネック合同メソジスト教会にて

復活祭早天礼拝（英語）クーパーズポンドにて3月31日午前6時30分

復活祭礼拝（英語）午前10時

日本語復活祭礼拝 午後 3時、礼拝後、社交室にて持ち寄りで祝会